

私は、大きく 3 点、質問させていただきます。

1、まず、これからの北区の DX、ICT 化のさらなる推進についてです。

本年 4 月から新たに高橋邦夫 CIO 補佐官が着任されました。

今後、(仮称)北区 DX 推進方針の策定、デジタルツールを活用した「新たな行政サービスの提供」、「業務改革等による業務の効率化」や「職員が多様な視点で政策形成等に取り組むための環境整備」を行っていく方針との事。

ますます期待される北区の DX、ICT 化ですが、推進していただきたい取り組みをいくつか提案をさせていただきたいと思います。

① 初めに、マイナンバーカードの普及をどう進めるかについてです。マイナンバーカードの推進が進めば、社会保障や税に関する行政手続きがシンプルになり、区民の手続きが楽になります。また、マイナンバー制度は行政側の業務効率やサービス向上につながります。区の取り組みの多くは、マイナンバーカードの普及を前提に考えられているものが多く、広く北区民にマイナンバーカードを取得していただく事は、今後の方向性に大きく影響を与える重要な案件と考えます。

・まず伺いたいのは、北区のここまでのマイナンバーカード交付数・交付率の推移はどうなっていますか？また、年代別で見るとどの年代での普及が進んでいて、どの年代の普及が進んでいないのか、お示し下さい。

・さらに、マイナンバーカードの現在までの普及について、北区はどのように捉えていますか？また今後の促進の手段としてはどう考えていますか？

私が気になっているのは、現在展開中のマイナポイント事業第 2 弾に申し込むには 9 月末までのカードの申請が必要だということです。先日のニュースから、執行残による期限の延期の方向もあり得るのではないかと見ておりますが、積極的にカード取得に動かない方の動機づけにも、マイナポイント事業の期間は重要と考えます。

・短期間で取得を促していくには、どうすすめていくべきなのでしょう？区としての考えをお聞かせ下さい。

- ・私は、マイナンバーカードをこれ以上普及させていくためには、アウトリーチ型の申し込みを増やすべきと考えます。総務省委託事業として、行政書士による「マイナンバーカード代理申請手続事業」が現在展開されていますが、そこでは相談会や代理申請などを無料で行なってくれます。この事業と連携をして、1人でも多くの方に行き届くよう、さまざまな場所でカード申請に取り組むべきではないでしょうか？区の見解を求めます。

② 次の提案ですが、区内共通商品券事業に、北区オリジナルアプリの導入をしてはいかがでしょうか。

本年すでに商品券は6月に発行済みです。土曜日の午前中、各地で行列、すぐに売り切れになったそうです。9月10日には高齢者向けが発行されたばかり、12月にも子育て世代向けが発行予定です。

しかし、紙ベースであること、商店街にて購入、という現状では、発行部数が少ないこともあり、広く区民に行き渡っていない、という点が指摘されています。

全体的に区民を巻き込んでいく例として、会派で視察に行った、愛媛県西条市の「LOVESAIJO ポイント」事業は大いに参考になります。アプリ内でポイント付与することで、広く使ってもらえる事業となっています。LOVESAIJO ポイントは市内の登録店舗で1ポイント1円で利用できる、地域活性化策です。さらに市内のSDGs活動に参加するとポイントが付与されるシステムにしている、積極的・能動的に市の取り組みに参加してもらうことが可能です。

- ・北区でも、ぜひこのシステム、導入を検討してはいかがでしょうか？
- ・また、健康推進にもなる「あるきた」との連動も考えていただけたら、さらに北区が元気になると考えますが、区の見解を伺います。

③ 次に、区役所等の窓口に、シースルーキャプションズ等のデジタルコミュニケーションツールの導入をしていただけないか、ということです。

シースルーキャプションズは、話した会話が透明なアクリル板に、文字情報として表示されるシステムで、耳の不自由な方や高齢者、外国語に翻訳もできるので外国人とのやりとりにも有効なシステムです。現在のようなコロナ禍ではマスクやアクリル板などを通すため、そもそも会話が聞き取りづらいので、利用者全員に有用なシステムと考えます。静岡県庁や葛飾区等で実証実験がされています。

その他、コミュニケーションを円滑にするような工夫を含め、利用者の方がストレスを感じないような方策を立てることは重要です。

- ・まず第2庁舎や、第1庁舎の高齢者・障がい者・外国人の利用が高いと思われる部署からでもシースルーキャプションズやその他コミュニケーションを円滑にできるような機器

の導入実験を検討してみてもいかがでしょうか？

④ 続いて、区内施設への Wi-Fi 環境の整備の充実についてです。

(1) まず、特別養護老人ホームなど、高齢者施設への Wi-Fi 環境を整えることは重要です。Wi-Fi 環境があれば、センサーなどを導入することにより、介護ベッドの周りなどをモニタリングすることで、介護者の体調などを把握することが容易になり、特に夜間の介護労働力の軽減が図れます。非常にメリットが大きいですと考えます。

・そこで伺います。Wi-Fi 環境を整えること、またそれに伴い、センサーなどを導入していくことをすでに実施されている区内高齢者施設はどのくらいありますか？把握ができていない限りで構いませんので、お示しください。

また、先日、大規模改修が完了した「特別養護老人ホーム上中里つつじ荘」を内覧させていただきました。この施設には Wi-Fi 環境が整っているとのこと、大変に頼もしく思います。

・そこで伺いますが、Wi-Fi 環境があることによって、施設ではどう活用していくことを想定されているのでしょうか？

(2) そして、赤羽会館、滝野川会館、区民センター、地域振興室、ふれあい館、文化センター、ぷらっとほーむ等への Wi-Fi 環境を整えることも重要です。オンラインとの併用ができるような会議室の環境改善は、コロナ禍を経験した区民の皆様からの要望も多くいただいています。

・そのためにも、こういった会議室などがある施設での Wi-Fi 環境は重要と考えますが、区の見解はいかがのでしょうか？

また、本年2月の個人質問で、e-スポーツの件、少し触れさせていただきました。今回は、特に高齢者の認知症予防のために、またコロナ禍で人との触れ合いが減ったことによる機能の低下を食い止めるためにも、「シルバーeスポーツ」の導入を提案します。日本薬科大学の研究によると、eスポーツが記憶力や注意力などの認知機能の改善に効果があると指摘されています。高齢者の方々が集える場所に、Wi-Fi 環境があれば、こういった取り組みを実施することも可能ではないかと考えます。

埼玉県鶴ヶ島市や熊本県美里町ではすでに高齢者のデジタル活用支援事業として取り組んでいます。

・Wi-Fi 環境の整備とともに、シルバーeスポーツの導入を北区でも検討いただきたいのですが、区の見解を求めます。

- ⑤ 次に、特別養護老人ホーム入所者や区内入院施設を持つ病院のオンライン面会システムの導入についてです。

現在、多くの特養や病院では、面会が禁止されています。そんなコロナ禍では、オンライン面会ができるかどうか、家族の絆を守る大事なツールになります。コロナ禍で進んでいるとは聞いていますが、実際の利用者や入院されている方のご家族などからお話を聞くと、オンラインでの面会すら、できていない方も多いようです。そこで伺います。

- ・区内の特別養護老人ホームや、入院施設のある病院の中で、オンライン面会の実施率がどれくらいか、把握されていれば教えてください。また、実施できていないところがあれば、導入できない理由などが分かれば教えてください。
- ・また、ツールでは、LINE 電話などが多く利用されているようです。端末を持たないデジタルデバインドの方でも利用できるよう、またそもそも実施できていない施設で少しでも入居者・入院者と顔をみて直接会話ができるように、端末を施設で設備するための補助制度の創設を求めますが、区の見解を求めます。

- ⑥ 学校環境についてもお聞きします。まず、区内小・中学校のデジタル教科書の導入です。指導者用デジタル教科書はすでに導入されているようですが、先日の文科省の発表で2024年にまずは小学5年生から中学3年生の英語で本格導入されると報道されました。GIGAスクール構想による1人1台端末の真骨頂です。早期に導入し、先行して取り組んでいくことで、デジタル化に慣れていく必要があると考えます。

近年、子どもたちの学習教材の重さ、荷物の相談が特に小・中のそれぞれ低学年に増えています。荷物問題を少しでも解消するためにも、導入を早めるメリットは大きいと考えます。

- ・そこで、2024年を待たずに、区内小・中学校への早期のデジタル教科書導入の検討は出来ないでしょうか？区の見解を求めます。

- ⑦ もう一つ、小・中学校の保護者との連絡ツールのデジタル化はどこまで進んでいるでしょうか。一部、保護者の方々からは、今も朝に電話での連絡がなかなか取れずに子どもの状況や欠席連絡に苦労している方もいらっしゃるそうです。朝の時間は保護者にとっても貴重な時間です。そこで伺います。

- ・区内小・中学校の連絡ツールのデジタル化は、現状どのくらいできているのでしょうか？
- ・もし、進んでいないところがあるならば、その理由はどんなところにありますか？
- ・また、完全実施にはどのくらいの期間がかかると区は考えていますか？お示しください。

2、大きく2つ目の質問は、「スポーツの力」を活用した地域の活性化について、です。

北区は本年8月4日、女子プロサッカーチーム、日テレ・東京ヴェルディベレーザを「北区スポーツ大使」として委嘱しました。

日テレベレーザは昨年からはじまったWeリーグで年間3位の強豪チームです。

北区の「味の素フィールド西が丘」をホームタウンにしている、地元の商店街などではポスターなども貼られるようになりました。

しかしながら、「北区スポーツ大使」として力を発揮していただくためには、さらなる知名度アップは重要な取り組みです。ベレーザが地域に浸透し、北区以外にもアピールできれば、北区のブランドイメージもさらに上がると考えます。

・そこで、北区として、ベレーザとの今後の展開、特に認知度を高めるための区の施策と、行政との連携について、どんなことを計画しているか、またその可能性について見解を求めます。

プロサッカーチームと行政の連携例として、徳島県の美馬市の取り組みを紹介したいと思います。徳島県には「徳島ヴォルティス」というチームがありますが、大手製薬会社である大塚製薬と徳島ヴォルティス、そして徳島県美馬市の3者で覚書を交わし、美馬市版SIBを展開しています。

SIBとは、ソーシャルインパクトボンドの略で、民間資金を活用して社会課題解決型の事業を実施し、その成果に応じて地方公共団体が対価を払うスキームのことです。

「ヴォルティスコンディショニングプログラム」という、プロのコーチが指導する運動プログラムを地域で実施し、市民が低額な参加費で参加。楽しく、専門家の元でトレーニングができる環境を整え、参加者にライフレコーダーを配布することで日々の歩数などの活動量や食事時間、睡眠時間などを自動的に記録し、データを「見える化」することで、地域課題であった健康維持管理状況を改善。その効果として医療費の抑制、介護給付費の抑制につなげています。

何より、現場のトレーニングを見学させていただいて印象的だったことは、参加者の方々の笑顔と、徳島ヴォルティスへの愛着でした。

徳島ヴォルティスが銀行から資金提供を受け、美馬市がヴォルティスに業務委託、実際の運営は徳島ヴォルティスが行って、美馬市はその成果に連動した対価を支払うシステムです。

成果に応じて対価が変動するためヴォルティス側はモチベーションになり、美馬市側はリスクを抑えることができます。

・日テレベレーザにも、プロスポーツチームにしかできない技術や経験があります。ぜひ、北区との間においても、北区民を巻き込んだプロジェクトがベレーザとできないか、協議するべきと考えますが、いかがでしょうか。

3、3つ目に、赤羽台・桐ヶ丘の地域課題について質問します。

①最初に赤羽台西小学校改築についてです。コロナ禍でストップしていましたが、その間に大きく学区内の環境が様変わりしてきました。印刷局の宿舎が完成し、ヌーヴェル赤羽台のURも建て替えが進んでいます。そこにさらに赤羽台ゲートウェイ計画での300戸以上と言われるマンション計画もあります。

- ・児童数が増えることが想定される中で、対策として、URの土地を1800平米譲り受け、拡張用地とすることになっていますが、現状でも、その計画で改築に必要な広さは問題ない計画になっているのでしょうか。見解をお聞きします。
- ・また、8月に土壌調査を行うとのことでしたが、どのような結果が出たのでしょうか。

③次に、赤羽台スターハウス等を活用した、情報発信基地について質問します。

福岡県宗像市に「ひのさと48」という新しいURの取組みがあります。実際に見てきてわかったことは、古い団地を基点として、民間活力が主導して地域を盛り上げている姿でした。建物を活かしてリノベーションし、地ビールの工房や、お洒落なカフェ、団地の壁にはボルダリング設備までありました。ここまで魅力たっぷりになっているのは、民間活力が主導して運営しているからに他なりません。そこで質問します。

- ・来年度には、東洋大学にライフデザイン学部が再編され、福祉社会デザイン学部と健康スポーツ科学部が開設します。現存の情報連携学部とともに、彼らの力やその他民間の力を借りて、情報発信基地がヌーヴェル赤羽台や東洋大学に負けない、魅力ある施設になるよう、URと北区と、民間の力を融合していくべきだと考えます。ぜひURや東洋大学に提案をしていただきたいのですが、いかがでしょうか。

④最後に、桐ヶ丘団地内にコインパーキングの設置実現についてです。桐ヶ丘地域は北区有数の高齢化地域です。親の介護のために、地方から車で一定期間泊まりに来る方々が、一定数いらっしゃいます。その度に問題になるのが、「桐ヶ丘団地にはコインパーキングが存在しない」という事実です。居住者駐車場は、空きがあるところが多いにも関わらず、です。現状、かなり遠いコインパーキングに停めるか、通報されることを覚悟で団地敷地内に停めるかしかないのが実態です。この状況は改善されるべきものです。そこで質問です。

- ・コインパーキングの誘致または現存する居住者駐車場の空き区画の一部にコインパーキングを設置できるよう、東京都住宅局に要望していただけないでしょうか？

私の質問は以上となります。ご清聴、大変にありがとうございました。